

# 英語科学習指導案

指導者 鈴木 悦子

日時 平成29年11月18日(土) 第2校時(11:05~11:55)

年組 中学校第2学年2組 計40名(男子18名, 女子22名)

場所 中学校第2学年2組教室

単元名 NEW HORIZON English Course 2(東京書籍) Unit7: The Movie *Dolphin Tale*

## 単元について

本単元は、実話をもとに人間と動物の絆を描いた感動作である「いるかと少年(Dolphin Tale)」についての話である。内気な少年が尾びれを失ったイルカのために奮闘する中で、さまざまな人と出会い成長していくストーリーである。言語材料については、海の生き物の大きさ・速さの比較や映画の一番面白い場面の紹介を通して、比較表現について学ぶことがねらいである。

本学級の生徒は、授業では落ち着いて真面目に学習するが、集中力や思考力が続かない生徒も少なくない。男女を問わず仲が良く、級友を大切にできる雰囲気があり、ペアやグループでの活動に前向きに取り組むことができる。一方、間違いを恐れるなど、人前で話すことを苦手とし、互いに遠慮して発言などが活発に出てこない面もある。また、9月に実施したアンケートでは、次のような結果が見られた。例えば、「英語の勉強は好きだ」という問いに、肯定的に回答した生徒は62%であった。しかし、英語で自分の思いを話したり、書いたりすることが好きだ」という問いに対しては、約60%の生徒が否定的回答であった。さらに、「英語で自分の思いを書くことは難しい」と感じている生徒が80%もいた。このことから、英語で自分の思いを表現することに苦手意識を持っていることが考えられる。

表 英語に関するアンケート 2017年9月実地(%)

	英語の勉強は好きだ	英語を聞くことは好きだ	英語で自分の思いを話すことは好きだ	英語の物語や長文を読むことは好きだ	英語で自分の思いを書くことは好きだ	英語で自分の思いを書くことは難しい
肯定的回答	62	60	38	38	40	80
否定的回答	38	40	62	62	60	20

本単元を指導するにあたって、言語材料である比較表現の定着と教科書本文の内容理解に重点をおきたい。比較表現に関しては、実際に比較表現が使用される場面を意識した活動を行うことで定着を促したい。教科書本文の内容理解においては、グループで協力し、場面や状況を想像しながら、英文を正確に読み取らせたい。単に日本語訳をするにとどまらず、その表現からどんなことを読み取れるのかを考え、英文の描写の奥にある事実や心情を読み進めさせたい。その際には、本文に書かれていないことなどを、書かれている根拠から判断するよう、キーワードに注目させながら、英文から心情や情景を読み取る技術を身につけさせたい。ねらいに到達するために、スモールステップとして、ペアやグループ活動を仕組み、定着や理解を深めるとともに、生徒の集中力が持続するように、テンポよく効果的なグループ活動を仕組んでいきたい。また、最終活動では、自分のお気に入りの映画や本について紹介する原稿を書くことをねらいとする。その際に、比較表現を取り入れることをタスクとする。これは中学校学習指導要領の、「エ 書くこと」の指導項目「(ウ)身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。」に位置づけられる。その際に、比較表現を活用することで、自分の興味を持った作品の魅力を表現させたい。ライティング活動ではマッピングを利用し、伝えたいことや情報を整理することで、まとまりのある文章を書くこと

が苦手な生徒にもスムーズに書く作業に取りかからせたい。また、グループで原稿の推敲を行うことで、文章構成の特徴を意識しながら一貫性のある表現力を深めたい。なお、既習の英語的知識や技能の習得が不十分であるために課題をスムーズにすすめることが困難な生徒へは、英語表現についての技能や考え方を支援するようにしたい。

### 指導目標

1. 間違いを恐れずに英語で自分の考えを伝えることができるようにする。
2. 場面や状況を想像して、映画のあらすじを理解することができるようにする。
3. 比較表現を理解し、適切に使用することができるようにする。

### 指導計画（全5時間）

- |                  |          |
|------------------|----------|
| 1. 比較表現, 新出語句・表現 | 1 時間     |
| 2. 本文の内容理解       | 3 時間     |
| 3. 単元のまとめ        | 1 時間（本時） |

### 本時の目標

比較表現を用いて、自分のお気に入りの映画や本について、相手に分かりやすく表現することができる。

### 学びを豊かにするための手立て

自分のお気に入りの本や映画についてライティングした後、より詳しく伝わりやすい原稿を作成するために、グループでお互いにアドバイスをする活動を設定することが第一の手立てである。また、授業者は、生徒個々の思考を整理させたり、アイデアを広げたり深めたりできるように、どのような視点に着目すればよいかを問いかけたりするように介入することが、第二の手立てである。

### 学習の展開

学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点（◆評価）
<p>1. Greetings（5分）</p> <p>□Today's teacher</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師役の生徒があいさつ、曜日・日付・天気の確認をする。</li> <li>・” My favorite thing ” についてスピーチをする。</li> <li>・生徒2名に質問をさせ、それに対する応答をする。</li> </ul> <p>2. Warm-up（2分）</p> <p>□1-minute talk（ペア活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較表現を使ってトークする。</li> </ul> <p>3. Review（5分）</p> <p>□Useful expression</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較表現の復習</li> </ul>	<p>○話し手と聞き手の役割を意識するよう促す。 （アイコンタクト、あいづち）</p> <p>○本時の内容につながる題材を提示する。</p> <p>○リズムよく繰り返し発音さる。</p>

<p>4. Writing activity (30分)</p> <p><input type="checkbox"/> Mapping</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・話題・メインアイデア・まとめについて構想する。</li></ul> <p><input type="checkbox"/> Writing</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ルールを意識しながら紹介文を書く。</li></ul> <p><input type="checkbox"/> Peer reading for revision</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループで原稿を読み、アドバイスをする。</li><li>・アドバイスをもとに紹介文を再考する。</li></ul> <p>5. Consolidation (3分)</p> <p><input type="checkbox"/> Speech</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・数名がスピーチを行う。</li></ul>	<p>○書く内容の構成を考えることで、まとまりのある内容になるよう意識させる。</p> <p>○適切に比較表現を用いているかグループでアドバイスさせる。</p> <p>◆自分の考えや気持ちを、わかりやすく表現することができる。【外国語表現の能力】</p>
---	---